



Bーぐる沿線協議会ニュース

第29号

令和5年12月発行 Bーぐる沿線協議会事務局 区民課庶務係コミュニティバス担当 03-5803-1387

令和5年7月26日に沿線協議会が開催され、令和4年度のBーぐるの利用状況と決算報告、また昨年度実施した利用実態調査の結果説明があり、活発な意見交換が行われました。

利用者は3路線計102万人。回復傾向も、コロナ前には届かず

はじめに事務局から、令和4年度のBーぐる乗車人数が、千駄木・駒込ルートが454,041人、目白台・小日向ルートが421,515人、本郷・湯島ルートが149,300人、合計で1,024,856人と報告がありました。新型コロナウイルスの影響による行動制限の緩和等により、1日あたり千駄木ルートが148人の増加、目白台・小日向ルートが163人の増加、

本郷・湯島ルートは年間運行となったこともあり90人の増加と3ルートとも前年度から増加回復傾向がみられましたが、コロナ前(令和元年度)の水準までは戻っていません。

今年度区では、区内のイベント等と連携して、Bーぐるの周知と利用促進に向けた情報提供等の対策を始めています。

Bーぐるの乗車実績の推移(左)と月別乗車実績(令和4年度)



収支改善に向け、協賛や広告にも注力

続いて日立自動車交通の榎本氏から、令和4年度決算報告に関し、営業収入はコロナ禍の影響を受けた前年度と比べ3ルートとも増収となりましたが、修繕費や車庫代等の営業経費が増加したこともあり、赤字幅の改善は1路線当たり200万円(千駄木・駒込ルート)~400万円(目白台・小日向ルート)程度に留まったと報告がありました。

参加委員からは、運賃100円が想定されている以上赤字運営もやむを得ないのはわかるが、今後の収支

改善のためには、運賃以外の収入である協賛金や広告費がどれだけ増やせるかを検討すべきとの意見があり、榎本氏も努力していきたいと述べました。



運賃に関しても、活発な意見交換

その後の意見交換では、バス乗務員の慢性的な不足とその背景にある経営環境の厳しさがとりあげられ、乗務員の待遇改善は待ったなしの状況とのことです。運賃の値上げに関しても話題となり、日立自動車交通の榎本氏から、現在運行している6つの区のコミュニティバスの運賃は横並びで100円であること、運賃は区との話し合いで決まる等の説明がありました。出席委員の意見も値上げ容認と反対とに分かれるな

ど、活発な発言がみられました。

元田会長は総括として、運賃の値上げに関しては、サービスをもっと増やさないと、利用者は納得しないだろう。その一方で、コミバスの運賃が100円というのは、今から28年も前、武蔵野市のムーバスが始まりで、以降横並びですっと続いてきた。近年の物価上昇からみて不自然で、こうした状況にどう対応していくかは、社会的な問題になっていると結びました。

運行状況や利用者の満足度も高評価

事務局から、令和4年度に実施したBーぐる関連の調査として、乗降客数や運行状況に関する調査とBーぐるを利用している人を対象とした利用者意向調査（アンケート）を中心に報告されました。

ふだんの運行についてはほぼ正確に運行され、乗換や乗継にも大きな問題はありませんでした。

利用者アンケートに関しては、運行・サービス水準に対する満足度では、満足（「満足」＋「まあ満足」）の割合がほぼすべての項目において半数を超えており、満足度は高いという結果になりました。特に、「料金」「運転手の接客、運転マナー」「定時性」「ルート・経由地」において満足の割合が7割以上でした。全体的な評価も満足が8割弱と高くなっています。

不満（「やや不満」＋「不満」）の割合をみると、「始発・最終の時刻」「運行間隔」「車両の大きさ、座席数、乗り降りのしやすさ」で2割程度と他項目と比べて高くなっています。

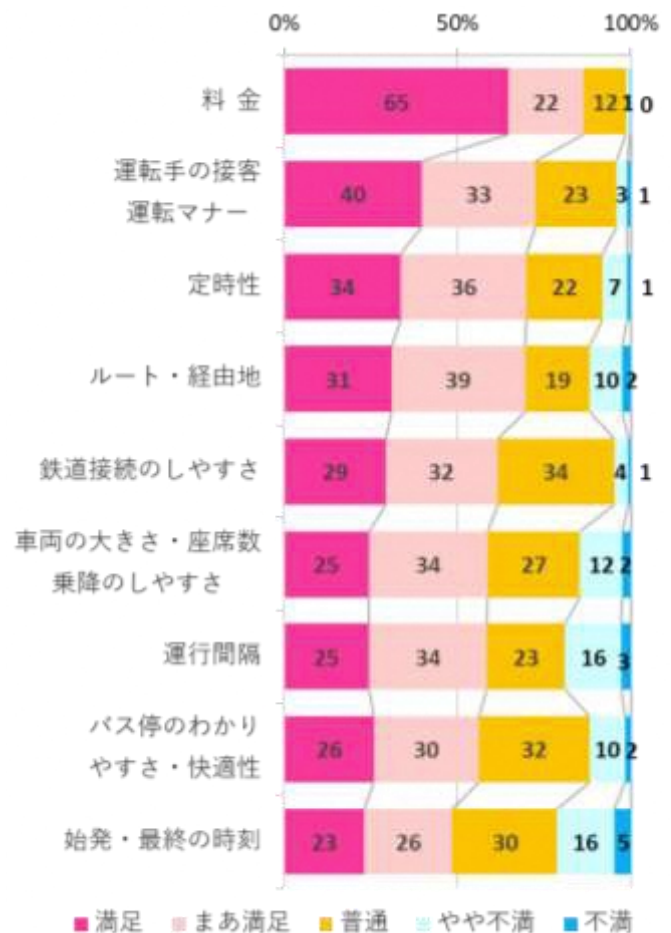
今回の調査で運行状況や利用者の満足度も高い評価が確認できたことから、今後も現在の運行体制を継続との方針が示されました。

利用者の要望として多かった「運行間隔の短縮」「運行時間の拡大」「逆回りルート」への対応が今後の課題となりますが、利用者数がコロナ前の水準にまで回復しておらず、特に本郷・湯島ルートは認知度も低い状況であることから、当面は利用者数の増加に向けた働きかけを強化していくとしました。

今回のアンケートの結果は区のホームページだけではなく、利用者に直接フィードバックできる方法を今後検討していくとともに、さまざまな角度から詳し

く分析し、可能なものから取組を具体化していきたいとしました。

Bーぐるの運行やサービス水準に対する満足度



編集後記

紙面の都合で紹介できませんでしたが、Bーぐるの友の会から説明のあったBーぐる夏まつりは、8月26日に目白台運動公園で開催され、親子連れを中心に大勢の来場者で賑わいました。今後もBーぐるの友の会の活動を応援していきたいと思っております。(N)